

林崎神社奉納演武会



林崎甚助重信公を偲ぶ演武会は、一般社団法人武道振興会が主催する、春には終焉之地、川越市蓮馨寺にて、又夏は、公誕生之地山形県村山市の熊野・居合両神社（通称林崎神社）で開催される。夏至をすぎ、夏の終りに近い9月7～8日に第四回目の演武会が開催された。神明会が主催して、此の地を訪れ奉納演武を行ったのは、平成27年7月11～12日の事で、この時点で“まさか”5年連続で此の地を訪れるとは夢にも思わなかった。山形新幹線も毎回同じ、10時発“やまびこ133号”に乗車する。約3時間強後の2時頃にチェックイン。旅装を解き、バスに1時間あまり揺られ、尾花沢市細野地区の山間にある、釜ヶ沢大明神、奥の院前庭に祠があり山神様と共に祀られている。

奥の院は更に山道を徒歩で約1時間程の所に甚助公が修行を行った場所の岩窟内に大明神が祀られているという。前庭祠の前で宮司によるお祓い、神酒で献杯後各流派代表が、1～2本抜いた。昨年は月の輪熊が山を登っていたとの話があったが、今年は野猿が木々の間を飛び交っていた。尾花沢名物の“スイカ”を狙っているとの事。

一夜明けて、早朝より着物に着替え、バスに乗り込み神社に向かう。正式参拝の後、演武に移る。釜ヶ沢大明神保存会に参加し、農業を営む御仁が今日は35～36度以上だと笑う。

田宮流は、3流派後の10時40分頃に宗家を先頭に山口氏・上総氏・私が一列に並び神前に向かい一礼をする。1. 宗家と山口氏に依る太刀薙7種の形。2. 上総氏＝稲妻、押技、胸之刀、突留、追太刀。3. 私が座居合を立居合に変へ、①稲妻②胸之刀⑤陰転切、立居合から③逃身④追太刀⑥松風⑦夜嵐（数字は順番）4. 宗家が稲妻、押技、除身、胸之刀、廻掛。それぞれ奉納させて頂いた。演武中、床の熱が足袋を通し伝わって来る。刀の棟が納刀の度に熱くなって行くのを感じた。（*_*）。猛暑の中、熱い声援をおくって下さったギャラリーの皆様感謝しお礼申し上げたい。直会では、保存会の御好意で、その年の季節に合わせ振舞って戴ける郷土料理が楽しみの一つである。今年は、打ちたて、茹でたての“そば”を提供して下さった。すこし太めで、かために茹でた田舎風そばは芥子風味のナスの漬物と合わせ、やや甘口の地酒「十四代」にも相性が良くついつい盃が進み居合談義に花を添える。台風15号が関東方面に接近との情報を得、早めの納会となる。いつもながら、主催者と、協力頂いた皆様に感謝・感謝。 R1・9・20 元喜、